

平成21年度技術士第二次試験問題〔水産部門〕

選択科目【14-1】漁業及び増養殖

1時30分～5時

I 次の2問題（I-1，I-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

I-1 我が国における水産資源の大半は依然として低位水準にとどまっている。今後、これら資源の回復と管理を推進するためには、遠洋・沖合漁業、沿岸漁業、海面増養殖業、及び内水面漁業・養殖業の4種類の漁業において、各々、どのような課題があるか、また、その対策について論ぜよ。（問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

I-2 次の5設問のうち3設問を選んで解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

I-2-1 漁業におけるゴーストフィッシングの問題に関して、海域や漁業種類の1例を挙げて現状を説明し、これを解決するための技術的対策について述べよ。

I-2-2 近年、GIS（地理情報システム）が水産・海洋の多様な分野で利用されている。この具体的な応用事例について1つを挙げて説明せよ。

I-2-3 外来魚が内水面の水産増養殖に及ぼす被害と防除技術について述べよ。

I-2-4 干潟における二枚貝類の安定的な生産を実現するための方策について述べよ。

I-2-5 近年、注目されているマグロ養殖について、技術上の問題と対策を述べよ。